

糸縫り Ver.

学習指導案

- 1 時間：授業時間約2時間（50分 x 2）程度
- 2 場所：教室、美術室等
- 3 生徒：小学部、中学部、高等部生徒（知的障害のある児童及び生徒に対し、障害の状態及び特性を十分考慮して）
- 4 教科：(小学部)「図画工作」 (中学部)「美術」または「職業・家庭」
- 5 題材名：『縄文漁網を編む - 植物繊維を素材とした漁網制作 - 糸縫り編』
- 6 目標：(小学部) つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。(中学部) 創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を営む態度を養い、豊かな情操を培う。
- 7 準備物：「糸のつくり方 二人版」プリント、苧麻、水（バケツやボウルなど）、ハサミ、雑巾
- 8 題材の指導・評価計画（全2時間程度）

時間	展開	学習活動・学習内容	教師の指導と留意点	備考
1	1分	○出席確認	苧麻を水に浸しておく。	「糸のつくり方 二人版」プリントを配付する。
	導入 14分	・芸大教員自己紹介 ○課題の把握 ・縄文文化財の鑑賞 ・課題の提示と説明	縄文文化の美しさや重要性を感じとらせる。	【導入スライド】縄文文化や生活に関心を持ち、主体的に制作の構想を練ろうとしている。
	展開1 35分	○糸縫り説明動画を視聴 ○糸縫り作業 ペア決め 繊維を2~3mmに裂く。 2人で時計回りに縫る。 2本重ねて反時計回りに縫り、片方の端を結ぶ。	「糸のつくり方 二人版プリント」を参照しながら説明する。 正しい回転方向で縫らないと糸にならないので、回転方向を常に確認する。	【糸縫り説明動画2人 ver.】上映。 その後糸縫り作業開始。 【糸縫り説明動画】をループで流し続ける。 制作方法の理解が足りない場合は本人の前で実演して補助する。
休憩				
2	展開2 30分	○糸縫り作業の続き 一人8本以上つくる。	正しい回転方向で縫らないと糸にならないので、回転方向を常に確認する。	【糸縫り説明動画】をループで流し続ける。 制作方法の理解が足りない場合は本人の前で実演して補助する。
	まとめ 15分	○振り返り 感想の発表（数名） ○次回編み工程の告知	制作意図や感想の発表を促す。 縄文文化の素晴らしさや学びの意義について伝える。	【主体的に学習に取り組む態度】 縫り体験の感想を言語で表現しようとしている。他者の考え方や表現を理解し、自分との相違を感じとれている。
	5分	○片付けと清掃 授業終了	縫り糸を保管しておく。	

編み Ver.

学習指導案

- 1 日時：授業時間約2時間（50分 x 2）程度
- 2 場所：教室、美術室等
- 3 生徒：小学部、中学部、高等部生徒（知的障害のある児童及び生徒に対し、障害の状態及び特性を十分考慮して）
- 4 教科：(小学部)「図画工作」 (中学部)「美術」または「職業・家庭」
- 5 題材名：『縄文漁網を編む - 植物繊維を素材とした漁網制作 - 編み編』
- 6 準備物：「縄文漁網編み方」プリント、苧麻の縫り糸8～10本程度、網制作用治具、水、ハサミ、雑巾
- 7 題材の指導・評価計画（第1回、第2回ともに全2時間）

時間	展開	学習活動・学習内容	教師の指導と留意点	備考
1	1分	○出席確認	苧麻の縫り糸を水に浸しておく。	「縄文漁網編み方」プリント配付
	導入 9分	・芸大教員自己紹介 ○課題の把握 ・課題の提示と説明	縄文文化の美しさや重要性を感じとらせる。	【導入スライド】上映 縄文文化や生活に関心を持ち、主体的に制作の構想を練ろうとしている。
	展開1 40分	○編み説明動画を視聴 ○編み作業 ・網を編む	編み方の動画を見せ、実演をする。 <u>「縄文漁網編み方」プリントを参照しながら説明する。</u>	【編み説明動画】上映。1回目はまず観る。2回目は作業しながら動画を要所所で止めて上映する。その後は【編み説明動画】をループで流し続ける。
休憩 10分				
2	展開2 30分	○編み作業の続き ・網を編む <u>作品完成</u> ○片付けと清掃	理解が足りない場合は実演しながら助言する。 完成した生徒から片付けと清掃に入る。	【編み説明動画】をループで流し続ける。
	まとめ 15分	○まとめ ○振り返り ・感想の発表	縄文文化の素晴らしさや学びの意義について伝える。 発表を促す。	【まとめスライド】上映 ・他者の発表を聞き、多様な考えや表現を理解する。
	5分	○片付けと清掃 <u>授業終了</u>	<u>各自が制作した網を保管する。</u>	